

2017/6/2

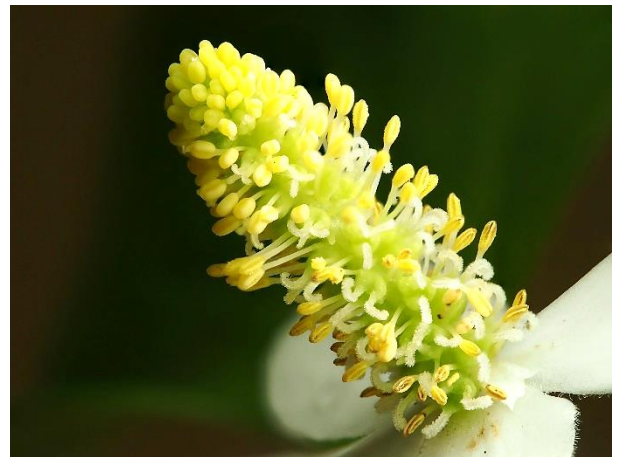
神代植物公園

## 植物多様性センターの「花びらの様で花びらでない花」

花は次世代形成の場です。花弁、萼ともに葉が変形してできた器官ですが、基本的な役割は生殖器(雄蕊、雌蕊)の保護と、虫媒花の昆虫誘引です。ところが進化の過程で他の器官と併せた様々な役割分担の変更や、器官の省略が行われます。この時期に花が咲くヤマボウシやドクダミは白い総苞片が花弁の役割をしますが、ヤマボウシには小さな花弁が残り、ドクダミは花弁や萼さえ省略されています。一方、ガクアジサイは萼を花弁の様にした装飾花で誘引し、中央にある多数の両性花にも小さな花弁があります。



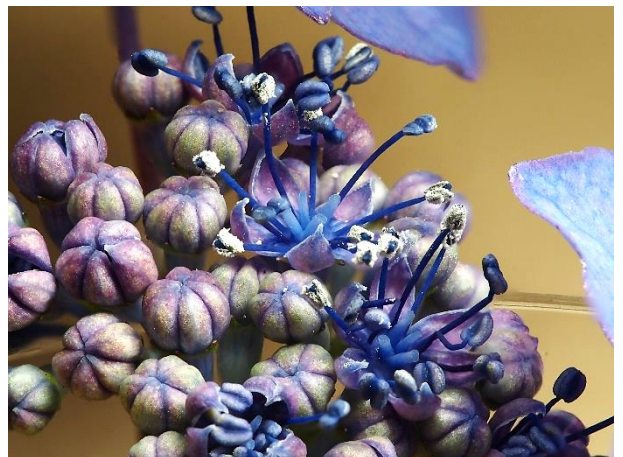
総苞片(花を包む葉)が  
花弁の様に見えるヤマボウシ



花弁も萼もない  
ドクダミ



萼が花弁に見える  
ガクアジサイの装飾花



本当の花(両性花)は  
真ん中に集まっている